

苦情続出

ジパング会員証不所持 正規料金買い直し

新幹線車内改札でジパング割引切符所持の旅客に対して会員証の提示を求め、不携帯の場合は正規料金・運賃の支払いを求めるといった取り扱いについて、旅客とのトラブル・苦情が頻発している。

27日は中日新聞がこの問題について報道し、社会的な問題となっている。

旅客は会員証を提示して割引切符を購入しているのだ。いくら規則にあるからとはいえ、正規の料金・運賃の支払いを求めたら、トラブルや苦情となるのはあたりまえではないか。トラブルに遭遇し苦情を受けるのは車掌と駅員である。多くの不満の声があがっているのはいうまでもない。

しかも全国的にそのような取り扱いは行われておらず、JR東海の新幹線だけがそうした取り扱いをしている。旅客が混乱するのは当然である。

私たちJR東海労は、旅客からの苦情・トラブルが頻発し、矢面に立たされた車掌や駅の仲間たちが苦勞している状況を見過ごすことはできない。

会社はただちに現在の取り扱いを中止せよ。

